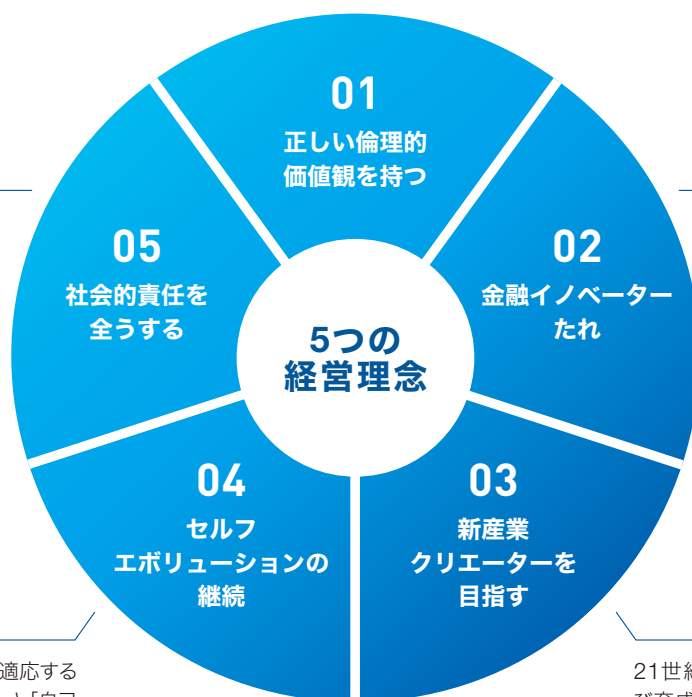


社会なくして企業なく、 企業なくして社会なし

「法律に触れないか」、「儲かるか」
ではなく、「それをするのが社会
正義に照らして正しいかどうか」を
判断基準として事業を行う。

SBIグループ各社は、社会の一構成要素としての社会性を認識し、様々なステークホルダー（利害関係者）の要請に応えつつ、社会の維持・発展に貢献していく。



インターネットの持つ爆発的な価格破壊力を利用し、より顧客便益性を高める金融サービスを提供することで、従来の金融のあり方に変革を与える。

経済環境の変化に柔軟に適應する組織を形成し、「創意工夫」と「自己変革」が組織のDNAとして組み込まれた自己進化していく企業であり続ける。

21世紀の中核的産業の創造および育成を担うリーディング・カンパニーとなる。

SBIグループの経営哲学

常に時流を捉えて、世のため人のためとなるような革新的な事業を創造するというのが、創業時からの私たちの変わらぬ想いです。同時に企業は社会の一構成要素であり、社会に帰属しているからこそ存続できるという考えのもと、社会の維持・発展に絶えず貢献することを目指してきました。

また、私たちは人に「徳」があるように、企業にも「社徳」があり、人徳のある人が周囲から尊敬されるように、企業も徳性を高めることで社会から尊敬されるものだと考えています。

これらの考え方に加え、継承するべきだと考えている企業文化のDNAが4つあります。それは、常にチャレンジし続けるために「起業家精神を持ち続けること」、「スピード重視」の意思決定と行動、過去の成功体験に捉われず「イノベーションを促進すること」、環境の変化を敏感に察知して「自己進化し続けること」です。これら4つのDNAを内包した企業文化を構築し、継承していくことで、持続的に成長する強い企業グループが維持されたいと考えています。